



報道関係者各位

令和6年4月5日

令和6年度「将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本のレガシー形成事業」 採択結果について

観光庁「将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本のレガシー形成事業」では、将来にわたり国内外から旅行者を惹きつけ、継続的な来訪や消費額向上につながる地域・日本のレガシーの形成を促すことを目的に、実現可能性調査や当該調査結果を踏まえたプラン作成を実施しています。

このたび、本市が応募した「水軍から海軍へ 日本海の護りの要所・舞鶴湾に浮かぶ無人島「蛇島」を核としたレガシー形成構想」が継続採択されましたのでお知らせいたします。なお、本事業は令和5年度に調査検討を行った事業のうち、良質な案件として継続支援を受けるものです。

1. 将来にわたって旅行者を惹きつける地域・日本のレガシー形成事業について

- (1) 応募主体：地方公共団体、DMO、その他観光協会等
- (2) 対象事業：FS調査(※)およびレガシー形成に向けたプラン作成に関する経費
- (3) 事業費：1事業あたり上限950万円、継続案件については上限1,600万円
- (4) 実施主体：採択事業について、地方運輸局が実施主体となり、コンサル会社等に委託し、地方公共団体等と連携しながら調査・検討を進めます。

※ FS調査

プロジェクトの実現可能性を調査するもの。市場調査や採算性・経済効果に加え、法制・規制面、技術動向、実施のための組織体制のあり方等の観点を含め、実現の可能性を調査。

2. 審査結果

- (1) 募集期間：令和6年2月20日～3月12日
- (2) 採択件数：9事業（近畿では2事業、採択事業一覧は別添、観光庁報道発表資料参照）
※ 令和5年度は追加採択含め14件採択、うち9件が継続

3. 本市から応募した事業

- (1) 事業名：「水軍から海軍へ 日本海の護りの要所・舞鶴湾に浮かぶ無人島「蛇島」を核としたレガシー形成構想」
- (2) レガシー形成の最終着地点：水軍から海軍に至るまで日本海の護りの要所であった「蛇島」において、蛇島城の復元整備を検討するとともに、日本近代化の躍動を体感できる象徴的な島として整備を進め、遊覧船と連携した周遊コースを造成し、シンボリックな無人島を拠点に市内観光資源周遊の仕組みを構築し、旅行者を惹き付けるレガシーの造成を図る。



SDGs 未来都市

舞鶴市 観光振興課（担当：竹原、神村）
〒625-8555 舞鶴市字北吸 1044
TEL: 0773-66-1024、FAX: 0773-62-9891
E-mail: kankou@city.maizuru.lg.jp